

## 交換留学（派遣）近況報告書

.....

留学先大学 : ポローニヤ大学

留学先での所属学部・研究科 : 文学部芸術学科

留学先での在籍身分 : 交換留学生

留学期間 : 2017 年 1 月 ~ 2018 年 1 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 文学部 → 人文学研究科

学年（出発時） : 4年

本報告書記入日 : 2017 年 5 月 1 日

## 1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

&lt;国名&gt; \_\_\_\_\_ &lt;期間&gt; \_\_\_\_\_

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

- |   |   |                                      |
|---|---|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 国際教育総合センターの教員 | <input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の教員    | <input type="checkbox"/> 友人          |
| <input type="checkbox"/> 以前に参加した先輩                | <input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の掲示板   | <input type="checkbox"/> 神戸大学のホームページ |
| <input type="checkbox"/> 留学フェア                    | <input type="checkbox"/> その他（具体的に）_____ |                                      |

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、

1~4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1 学術的な目的（研究を深める等）         | _____ 地理的な条件が良い      |
| 2 語学力の向上                  | _____ 旅行ができる         |
| _____ 将来のキャリアのため（就職に役立つ等） | _____ プログラムの時期が良い    |
| _____ 家族のバックグラウンドと関係がある   | 3 プログラムの期間が良い        |
| _____ 異文化体験               | 4 経費が安い              |
| _____ 個人的な理由              | _____ その他（具体的に）_____ |

1-4. VISAについて

VISAの種類 : 就学ビザ

申請先 : イタリア総領事館（大阪）

必要日数 : 3ヶ月弱

VISA取得にかかった費用 : 7000円（申請料）

VISA申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

イタリア総領事館のHPに語学留学用ビザ申請書のチェックリストがあり、それに従って準備をした。私が申請する際に引っかかった点は以下の2つ。①住居に関する証明書：イタリア滞在中に住む場所の住所が必ず求められる。またアパートなどを借りる場合は大家さんの身分証明書と直筆サインが入った住所証明のための書類が必要。②入学許可証：直筆サインの入った原本でなければならぬ。

## 1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

なし

## 1-6. その他に必要だった手続き、方法、料金等

ビザの受け取りを郵送にする場合は、切手と封筒を同じ建物内にある郵便局で買って持っていくように指示される。ビザの申請には事前にイタリア総領事館HPでのネット予約が必要。

## 2. 留学先到着後の手続きについて

## 2-1. 到着時について

利用航空会社：ルフトハンザ航空

利用旅行会社（航空券の手配をした会社）：HIS

留学先大学最寄り空港名：ボローニャ 空港

空港到着時間 : 18 時頃

空港からの移動手段：□大学手配の出迎え　▣知人の出迎え　▣公共交通機関　バス、鉄道　□タクシー  
□その他（具体的に）

移動の所要時間・料金： 約40分、6euro

#### 空港からの移動の際の注意点：

卷之三

なし

## 2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無：有り 無し

参加について：□必須  任意参加

參加費用：無料 有料 (金額：

۷

内容について記入してください。

授業の履修の仕方、大学施設の説明、留学生向けに開校されている授業の紹介のみ。文学部の場合は、イタリア語で行われた。オリエンテーションの日程は、HPには掲載されるが見つけにくく、ボローニャ大学のメールアドレスに事前に届くものを見た方がわかりやすい。

#### 2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

その他現地でした手書きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

大学へのチェックイン。到着後なるべくすぐに、大学の留学生オフィスinternational desk (Via Filippo Re, 4)へ行き、個人情報の登録を済ませる（窓口の職員さんの質問に答える必要書類を渡すだけでOK）。チェックインすることで学生証と留学生向けの大学施設利用マニュアル、学部別オリエンテーションの日程と場所を書いた紙がもらえる。同時に、滞在許可証の手助けをしてくれるオフィスへの予約もしてもらえる。JASSO奨学金をもらう人は、このオフィスで月次在籍確認証へのサインをしてもらえる。

### 3 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。

留学生向けのイタリア語コースがある。半期のみ無料であり、週に二回（二時間ずつ）、計15回実施される。クラス分けは、事前にweb力テスト（選択問題、長文読解、リスニング、ライティング）と現地でのオーラルテストで決定されるので、このコースを受けたい場合は事前のwebテストを受け忘れないよう。学期が始まる一、二か月程前になるとボローニャ大学HPの留学生向けイタリア語コースのページにwebテスト関連のリンクが貼られます。授業をうけるキャンパス（ボローニャキャンパス、リミニキャンパス等）ごとにリンクが違うので注意してください。このほかに、私は外部のイタリア語会話塾のようなものに通っていました。

留学先大学：ボローニャ大学

留学先での所属学部・研究科：文学部芸術学科

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2017年1月～2018年1月

神戸大学での所属学部・研究科：文学部 → 人文学研究科

学年（出発時）：4年

本報告書記入日：2017年5月1日

**出発前**

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

ヴェネツィア大学へ交換留学へ行っていた友人の体験談、イタリア総領事館HP、「イタリア留学」で検索した際にでてきたHP、ボローニャ大学HP、研究室の先生方の体験談。

**住居について**

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- 住居（寮、アパート）の名前：なし
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：フランス、オランダ） その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段：大体徒歩20分強、もしくはバス15分、
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

大学までの通学時間・手段については、校舎が街中に点在しているため場所にもよる。  
大きな道路沿いの住宅街。郊外なので、中心街へは少し時間がかかるがバスを使えば問題ない。目の前にスーパーと薬局、タバッキ、カフェ、ATMがあるので生活には困らない。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊もしくは外食。神戸大学の学食に比べれば、ボローニャ大学の食堂は価格帯が高く、栄養バランスも微妙

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

住居探しは一番難航した。ボローニャ大学は基本的に寮に空きがないので、アパートを借りる必要があるが、ネットで引っかかる物件が少ない上、入居の三か月以上前からの予約を受け付けてくれるところはなかなかない。また英語でのメールへの返答率が非常に悪く、拙くともイタリア語でメールを出すべきである。一、二か月滞在する用の家を見つけ、現地に到着後SAISのオフィスへ行くか現地の学生に手伝ってもらって物件を探すという方法が一番良いと思う。

**大学の授業について****1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

学期初めに履修登録をする方式ではなく、テストをうける直前（統一された登録期間が設けられているわけではなく、授業ごと、教員ごとに異なる）にボローニャ大学HPの担当教員のページから、該当する授業のリンクをえらびテストを受ける日時を登録するらしい。（登録の仕方はオリエンテーションで説明される、チェックイン時のマニュアルにも書いてある。履修登録に関する相談を受け付けているオフィスもあるので、困ったらそこへ行くとよいらしい。）

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Storia dell'arte moderna・近世美術	Irene Graziani, Daniele Benati	3	12CFU	20	
2	Storia comparata dell'arte nei paesi europei・ヨーロッパ諸国における比較美術史	Maria Angela Ghirardi	3	6CFU	20	
3	Filologia giapponese・日本文献学	Francesco Vitucci	2	9CFU	30	
4	Corso di italiano・イタリア語コース	Stefania Rocco	2	6CFU	20	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

文学部の後期は1月30日から始まり、3月中旬を境目に前半と後半に分かれており、5月の初旬から6月がテスト期間である。前半後半を通してする授業もあれば、どちらか片方だけの授業もある。また前半と後半で授業の日程と担当教員が変わるものもある。3月中旬が境目ではあるが、それにとらわれず授業によって開始日と終了日は異なるので、シラバスを注意深く確認する必要がある。クラスのサイズや使い分けは、神戸大学の文学部と同じ。成績評価は授業によって異なるが、基本的に期末テストのみの判断であるようだ。現地学生は、授業に出ていている生徒はみな熱心であるが、初回をのぞいて殆ど出席せずテストのみで乗り切るタイプもわざといっているようだ。

## 一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00	corso di italiano(10-12, 三月から)	storia dell'arte moderna(10-12)	filologia giapponese(8.30-10)				
11:00			corso di italiano(10-12)				
12:00			storia dell'arte moderna(10-12)				
13:00			storia dell'arte moderna(10-12)				
14:00			storia comparata nei paesi europei(15-17)				
15:00			storia comparata nei paesi europei(15-17)				
16:00			外部のイタリア語会話塾(17.15-19.30)				
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00	課外活動(19-21)						
22:00							

**現在までの感想　自由に記入してください。(800字~)**

ボローニャ大学の交換留学一期生ということで、前情報がほとんどなく渡航前はとにかく不安であったが、ボローニャ大学のinternational deskにいる職員の方々が大変親切で、困ったときはそこに行けばたいてい解決する。滞在許可証の申請は来てすぐに行う必要があるためとても緊張していたが、交換留学生の場合は大学が斡旋してくれるため、そこまで問題はない。必要書類を日本であらかじめ調べて準備しておいたため、そこまで焦ることはなかった。しかしながら書類のコピーはこちらへ来てからもできるので、もし荷物を減らしたければ各書類二、三部ずつにしておいても十分だと思った。

イタリアは時間にルーズであるというのが一般的なイメージであるが、ボローニャの場合はそんなこともなく、たいてい時間通りか10分遅れくらいをみこんでおけばよい。ただ、お店は突然休みになったりすることもあるのでたまに困る。旧市街地centroが中心街であり、城壁の外（地図には表示されるが実際、城壁は残っていない）が郊外という扱いで、旧市街地はバスも通っているし、規模も大きくないので徒歩でも十分移動できる。生活に必要なものはすべて旧市街地にそろっているので大変住みやすいと思う。ボローニャは観光地ではないため、特に大学の外では英語が殆ど通じない。そのため、拙くてもイタリア語で話す必要があり、語学の習得にはうってつけの環境であると思う。また、ボローニャ中央駅は北イタリアの交通の要所であり、ここから色々な都市へ、電車で簡単にに行くことができる。週末に日帰り旅行などができる、とても充実した時間を過ごすことができるだろう。遠方にも乗り換えなしで行けるのは、不慣れな頃は大変助かった。ただ電車やバスの停留所のアナウンスが、あったりなかったりするので事前に到着時刻や何駅通過するのかを確認していないと危ないので、そこは注意が必要であると思った。もちろんボローニャは歴史ある年なので、市内にもたくさん見どころがあるほか、資料も大変充実しており勉強面でも、素晴らしい環境であると思う。

こちらへ到着したばかりのころは、いろいろと困ることはあったが、自ら足を運んで話をすれば解決することが多く、また大学以外の人も基本的に親切であるため、どうにかやってこれたと思う。夜は歩くと危ないところもあるが、大都市でも観光地でもないため、犯罪が横行しているようなことはない。どのかな感じもあり、かといって田舎すぎて不便ということではなく、とても過ごしやすい。

私はボローニャ大学へ研究のため、語学の習得のために来たが、本当に恵まれた環境であり、毎日やることが尽きない。私の研究対象はボローニャ派の画家グエルチーノなので、ボローニャ市内の作品や近隣諸都市の美術館や教会を訪れ、作品の実見調査、資料収集が非常に重要であり、毎日空き時間はどこかへ足を運ぶようにしている。すでに自らの研究への関連度が高いと思われる作品や資料を新たにいくつか発見しており、さらに調査を深める予定である。また、大学の図書館だけでなく公立、私立の図書館の蔵書が非常に充実しており、とくにフェデリコ・ツェーリ財団の図書館は美術史に関連する書籍や資料がそろっている。サラ・ボルサと呼ばれる市立図書館は、留学生でも図書館カードを作れば本を借りることが可能であり、小説や雑誌、学術書は勿論、映画のDVDも利用できる。施設自体も非常に清潔感のある空間で、中には勉強スペースやカフェが併設され、学生や市民でいつもいっぱいである。史料館も常に開いており、今後はこちらへも足を運んでみたいと思っている。大学では、イタリア美術に関する授業が多く開講されており、いくつか受講した。ボローニャ派研究の権威であるバーナティ教員の授業では、今学期はグエルチーノに焦点があてられており、非常に幸運であった。授業はすでに終了してしまったが、上述した施設において、研究を進めたい。自由な時間が増えるため、今までは行きにくかった遠方の都市へも調査に出向こうと計画している。

語学の習得に関しては、大学のイタリア語コースの時間数が少なかったため、外部のイタリア語会話塾へも通っている。文法は一通り日本で終わっていたが、会話やリスニングの練習はあまりしていなかったので、こちらの会話メインの授業構成は非常にありがたい。クラス分けは初めに行われるが、ついていけなかったり簡単すぎたりする場合は、授業の開始後にもクラスを移ることが可能であり、このような生徒の語学習得を最優先にした柔軟さは非常に素晴らしいと思う。実際に私も、クラスを変更してもらえた。また、文学部には英語で行われる授業がほぼ存在せず、授業でもイタリア語を聞くことになるため、リスニング力が鍛えられる。特に、固い言い回しや専門用語の使用例をたくさん知ることができる点は、今後研究でイタリア語を使用していくことを考えると、良い訓練になっていると思う。教授やinternational desk以外の職員は英語を使わないため、質問や見学会予約の際にイタリア語を使用しなければならず、敬語表現など、日本においては感覚的に理解しにくい部分も実践的に学べている。今学期は美術史の授業しかそれなかったので、次の学期はイタリア史や文学といった関連分野の授業へも参加したいと考えている。